

中津市立 下郷小学校

学力向上プランの概要

【授業改善】

《 授業改善テーマ 》

自分の考えをもち、進んで表現できる子どもの育成

《 授業改善の重点 》

授業の中で個の考えを出し合う交流の場を工夫する

《 取組内容 》

- ① 自分の意見を持つための手立ての工夫
- ② 個人の意見を交流し合う場の工夫

【家庭・地域との協働】

(家庭)・「生活見直しカード」の取り組みの推進 「耶学のすすめ」の取組み

(地域)・学習支援協力 ・学校公開への参加

効果のある取組事例

1. 組織的な授業改善

- 授業・集会・行事等のあらゆる場面において自分の考えや感想を発表したり説明したりする機会の設定
- 課題の工夫やペア・グループ活動など子どもが考えを伝え合ったり教え合ったりする学び合う場面を授業の中で確保

2. 学力向上の取組み工夫

- 下郷タイムにおける活用問題への取組み（国語・算数におけるαドリルの活用）
- 図書館を活用した学習の推進
- 新聞を活用した読む活動の工夫
- 放課後を活用した個別の補充学習
- 家庭との連携による家庭学習の充実
- 「耶学のすすめ」の見直しと児童、保護者等への周知
- プログラミング教育のあり方の研究
- 「朝読書の時間」の充実（地域の読み聞かせとの連携）

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5年生対象の大分県学力定着状況調査より、国語・算数・理科の3教科において、「全体」「知識」「活用」のいずれにおいても正答率・達成率の目標値を下回った項目はなし。但し、国語「説明文の内容を読み取る」、算数「計算の復習」「小数」の項目で県平均を下回っている。 ○6年生対象の全国学力・学習状況調査より、国語・算数の2教科において、大分県の正答率を5ポイント以上下回った項目はなし。但し、国語「話す・聞く」、算数「量と測定」の領域において県平均正答率を下回っている。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人差(理解度・習熟度の差、上位層と下位層の二極化状態) 	<p>1 学期児童アンケートの分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自分の考えの理由もいっしょに話すことができた」児童肯定率88%・否定率12% ○「全校集会などで自分の考えや感想を発表することができた」児童肯定率76%、否定率24% ○「学習用具を忘れずに持ってきた」児童肯定率88%、否定率12% ○「家庭学習がしっかりできている」児童肯定率80%否定率20% ○「朝読書の時、しっかり本を読むことができた」児童肯定率90%、否定率10%
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業・集会・行事等のあらゆる場面において自分の考えや感想を発表したり説明したりする機会を多く設定した。(自己表現の場の工夫) ○課題の工夫やペア・グループ活動など子どもが考えを伝え合ったり教え合ったりする学び合う場面を授業の中で確保していった。(授業の中における個の考えを出し合う交流の場の工夫) <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○低位層・中位層のための補充学習時間の確保、単元終了時における既習内容の復習、家庭学習における内容の見直し 	



学力に関する達成指標	<p>【達成指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「授業の中で自分の考えを理由と一緒に言えた」の項目で肯定的に回答する児童が90%以上 ○「全校集会で自分の意見や感想が言えた」の項目で肯定的に回答する児童が80%以上
------------	---

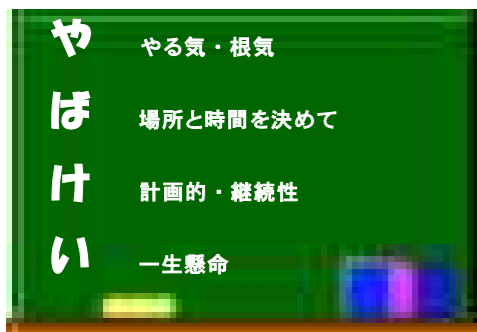


	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	<p>(授業改善テーマ)</p> <p>自分の考えをもち、進んで表現できる子どもの育成</p> <p>(授業改善の重点)</p> <p>授業の中で個の考えを出し合う交流の場を工夫する</p>	<p>(達成指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習を毎日する習慣が身についている
	<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を持つための手立ての工夫 ・自分の考えをまとめる時間の設定 	<p>(家庭・地域の取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生活見直しカード」の取り組みを通して、家庭学習の習慣化・学力向上につなげる
	<p>(取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ノートやワークシートを活用し、自分の考えや意見をまとめるための時間の確保をする 	<p>(家庭・地域の取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活見直しカードを活用して、家庭学習の実態を把握し、家庭学習の実施や授業準備等の声かけをする ○生活見直しカードや日頃の家庭生活・学習面での困りなどを学級懇談で話題にする
	<p>【その他の学力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下郷タイムにおける活用問題への取り組み(国語・算数におけるαドリルの活用) ○図書館を活用した学習の推進 ○新聞を活用した読む活動の工夫(高学年) ○放課後を活用した個別の補充学習 ○家庭との連携による家庭学習の充実 ○プログラミング教育のあり方 ○「耶学のすすめ」の見直しと児童、保護者等への周知 ○「朝読書の時間」の充実 	

耶馬のすすめ

2019

～家庭学習の手引～



小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は、欠かすことのできない「生きるための力」の一つです。

学校では、少人数のよさを生かし、「個に応じた指導」の取り組みを通して、基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭と協力することによりさらにその力は何倍にも高められます。

つまり、保護者の皆様に家庭学習について励ましたりほめたりしていただくことで、家庭学習が習慣化され、子どもたちの学力はより確かなものになります。

この「家庭学習の手引き」を活用し、各ご家庭の事情に合わせて、子どもと話し合っ家庭学習の約束を作ってくださいよう、よろしくお願ひ致します。



宿題からする習慣を！

耶馬溪地区小中連携推進会議

1. 家庭での学習を習慣化しよう

※学習時間のめやす
学年×10分 以上

※学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起き ○朝食は必ずとる ○朝の排便
- テレビは1日1時間以内（ゲームも時間に含めて）
- 自分で時間割や学習用具をそろえる（忘れ物0）
- 就寝は9時までにはする
- 家族にもあいさつをしっかりとしよう

※学習の3つのポイント

- ・テレビを見ながらしない
- ・よい姿勢でする
- ・机の上をきれいにしで行う



2. 生活の中で、見えない学力をつけよう

- 読書をしましょう。見えない学力を高めます。
- 不思議に思ったことなどを本やインターネット等で調べてみましょう。
- 国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近において調べてみましょう。
- 日本地図、世界地図、地球儀を身近において調べてみましょう。
- ニュース番組や新聞を親子で見話し合ひましょう。
- 自然や生き物とふれあひ、くわしく観察してみましょう。
- 百人一首など詩歌の暗唱をしましょう。
- 将棋や囲碁など頭を使うゲームをしましょう。
- 家の仕事を進んでやりましょう。

『 』の内容は、家庭で話し合っ決めてみましょう。

3. こんな時期です！小学校6年間！ ～「家庭」を『学びの環境』に～

【低学年1・2年生は？】 習慣づけの1年生！ 逃げない子にする2年生！

◎『いっしょにやって、やる気をおこさせましょう！』

- ①子どもの学習に関心を・・・「家でも勉強する」という習慣をつけましょう。
・少ない時間でもいっしょに。 ・一緒にできない時は、後で目を通す。
- ②学習環境について・・・学習机など「いつも決まった場所」をつくりましょう。
・テレビは消す、音量を下げるなどの家族の協力。 → 子どものやる気に。
- ③家庭と学校の協力・・・学校からの連絡やお便りをいっしょに確かめましょう。
・毎日連絡帳を開いてサインする。子どもも担任も安心です。



【中学年3・4年生は？】 やりぬく力の3年生！ 「9歳の壁」を破る4年生！

◎『認めて、ほめて、自信をもたせましょう！』

- ①子どもの学習に関心を・・・がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。
・一緒に考えてあげる。 ・ちょっとしたがんばりをほめる。
- ②学習環境について・・・学習を始める時間をいっしょに決めましょう。
・テレビやゲームは家族で話し合っ時間を決める。
- ③家庭と学校の協力・・・学校からのお便りを家族に手渡す習慣をつけましょう。
・置く場所を決める。 ・食事のときに渡すなど、約束をかわす。



【高学年5・6年生は？】 天と地の差がつく5年生！ 自信と希望の6年生！

◎『見守って、伸ばしましょう！』

- ①子どもの学習に関心を・・・計画を立てて自力で学習を進めるように見守りましょう。
・他の子と比べず、昨日のわが子と比べる。 ・ちょっとした頑張りほめる。
- ②学習環境について・・・自分に合った生活リズムをつくりましょう。
・夕食前、夕食後など、学習に取り組む時間帯を決める。
- ③家庭と学校の協力・・・思春期を迎え、子どもの心と体について気になることがあれば、担任の先生と話し合ひましょう。
・家庭でも学校でも、子どもの話をよく聞く。



4. どの学年でも取り組もう

国語 ・漢字練習 ・意味調べ ・視写 ・日記 ・音読
・漢字テストでまちがった漢字を覚える
・ことばの使い方調べ

算数 ・計算練習 ・百ます計算 ・文章問題
・テストでまちがった問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

社会・理科・総合 ・勉強したところに関係があることながら本やインターネットなどで調べまとめる。
外国語 ・単語や表現の仕方を覚える。
※市販のドリルや問題集などに取り組んでみるのもいいでしょう。



家庭学習は何のため？

4つの理由

自立

勉強の自分のため、子に自分なるため

定着

学校で習った勉強をつけるため

習熟

練習に習熟し、漢字などの学習をする。

習慣

毎日学習する習慣をつける。

◎ほんの少しのがんばりを見つけて、認めて、ほめてあげてください。

「がんばったね。」「その調子だよ。」「明日は、〇〇のところができるようにがんばろうね。」というちょっとした言葉かけが、子どもの自信とやる気につながります。

けいじばん

「継続は力なり」

☆続けることが大切です